

授業計画書(シラバス)

教科名	基礎造形(平面)	曜日 時間	金曜日	担当者名	西 治子
-----	----------	----------	-----	------	------

	前期指導案		後期指導案	
(年間 2回 5授 業日)	4月	17 24	10月	9 16 23 30
	5月	8 15 22 29	11月	6 13 20 27
	6月	5 12 26	12月	4 18
	7月	3 10	1月	15 22 29
	9月	4	2月	
方授 法業	(講義 ・ 実技)		(講義 ・ 実技)	
授 業 内 容	<p>1. A4コピー用紙を用いた造形試作と鉛筆デッサン(4/17~6/5 全7回) 【モチーフ】 ①シューズ又はスニーカー1足 ②アルミホイル箱入り1本 ③布(タオル、Tシャツなど) ・造形試作—A4サイズのコピー用紙を加工して、「最大(最小)の容積に見えるかたち」 ・鉛筆デッサン—モチーフ①から③を構成し、細密描写する。</p> <p>2. 色彩の研究—50ピース・カラー(50 piece color 6/12~9/4 全6回) ・色彩イメージを設定し、クラフト全紙1枚を用いて表現する。 全紙は50枚のシートに裁断し、構成、着色する。(裁断の形、接着、画材は自由)</p>		<p>3. かたちの研究「ハウス—うちと外と」(10/9~11/13 全6回) クラフト紙を用いて家(模型)を造形する。家を構成するファクターについて考察し、体験、記憶、異文化など多面的な角度から住居をとらえてみる。また、巣、安全地帯、要塞など家をめぐることばにも連想を広げ、最終的な純粋な形=抽象形体を目指す。</p> <p>4. 選択課題(11/20~1/29 全7回) ①祝祭のかたち 歓びを分かち合い祝福する様々な習慣や行事に着目し、祝祭に通底するシンボリックな形を導きだす。 ②サイレント・コーリング 内なる呼び声 内なる自身に語りかける声があるとすれば、それを形に置き換えることは可能だろうか。大いなる自然からの呼びかけを具現化することに挑む。</p>	
到達 目標	<p>1. 「折る、たむ、裁断する」さまざまな手作業と工夫がイメージを広げ、想像以上の発見に至ることを目指す。デッサンでは、モチーフのプロポーション、質感、量感を的確にとらえ、描写を通して観察力、物の本質に迫る洞察力を養う。</p> <p>2. 自身の色彩傾向を明らかにし、今後のガラス制作に行かせるカラーチャート、または配色モデルを作成する。</p>		<p>3. 本課題は日常を新たな視点で見るとの提案。望み通りの家を創作する子供時代の遊びに立ち返ることができる。制作の過程で出逢ういくつかの形から普遍性を見出す。</p> <p>4. さまざまな民族、文化に見られる祝祭の記号に学びながら、オリジナルのかたちを創作する。意味が形を生み出す過程を制作者として体験していく。①②とも素材は自由</p>	
成績 標準 評価	<p>1. A4紙による試作は特に評価しない。デッサンでは到達目標に上げた点について評価するほか、空間のとらえ方や躍動感ある描写、完成度についても評価する。</p> <p>2. 資料の収集、カットやドローイングなどの試作を繰り返す行い綿密な制作態度。真摯に取り組み、到達を目指していること。期日までに完成させる。</p>		<p>3. イメージスケッチを充分に行い、バリエーションの中から形を導き出す。紙の特性を生かした加工や工夫を行っている。作業に集中する。期日までに完成させる。</p> <p>4. スケッチと試作を丹念に行い制作を進める。テーマを早めに決定し、計画を立てて完成させる。ガラスを用いる場合はかかる時間を割り出し、手順を分けて制作する。</p>	
留意 事項	<p>1. 【研究所準備】デッサン用パネル、希望者にイーゼル 四つ切 鉛筆デッサン用M画用紙 人数分 A4コピー用紙 人数×5枚 【生徒準備】鉛筆デッサンのモチーフ①~③ 他にクロッキー帳(なるべく大きなサイズ、たくさん使う) 鉛筆デッサン用具一式、マスキングテープ、カッターナイフ、のり、はさみ 色鉛筆。(以上、年間を通して使用するのでも手元に置いておく)</p> <p>2. 【研究所準備】クラフト全紙(5枚入りロール)人数分 (課題2と課題3で合計5枚用います)</p>		<p>3. 2のクラフト紙4枚を使用。 ほかに接着剤、ひも、針金などを補足してもよい。</p> <p>4. 材料は各自で用意。</p>	